

# 知って納得 あなたのマネープラン

クイズで磨く！  
経済・マネーセンス

お金の基本から話題  
になっているトピック  
まで、クイズで  
経済知識とマネー  
センスを磨きましょう。

なるほど！  
マネープラン

今回のテーマは、「年  
齢に応じた資産配分  
のポイントとは？」で  
す。

ライフイベント  
などにかか  
るお金

お金まつわるデー  
タを紹介します。今  
回は、「生命保険料」  
です。

クイズで磨く！  
経済・マネーセンス  
マネークイズに挑戦！

**Q1** 厚生労働省は、年金について知りたいことがすぐに探せるポータルサイトを2019年4月に開設しました。このポータルサイトの呼称は何でしょうか？

- A ねんきんネット B 年金ポータル C 年金いろは

**Q2** フィデリティ退職・投資教育研究所が2010年より実施している調査によると、近年「投資」に対する考え方に変化が表れているようです。次にあげる「投資をしない理由」のうち、変化が最も大きいのはどれでしょうか。

- A 資金が減るのが嫌だから B 色々勉強しなければならないと思うから  
C 投資するだけのまとまった資金がないから

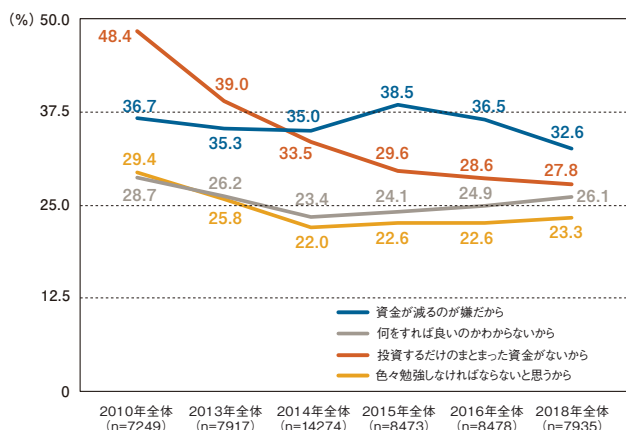
Q1  
答え B▶

「年金ポータル」は、自分の年金について「ちょっと知りたい人」や「これから手続きする人」などが、自分のライフスタイルや日常生活の中のさまざまなシーンに合わせたテーマで、年金の情報を探ることができる新しいポータルサイトです。これまで厚生労働省や日本年金機構など、さまざまな関係機関のホームページで個別に告知していた年金に関する情報をシンプルにまとめてあり、「年金」の仕組みや手続きについて調べるための入口として活用していただけます。

Q2  
答え C▶

フィデリティ退職・投資教育研究所では2010年から会社員や勤労者にアンケート調査を実施しており、その結果、「投資をしない理由」に大きな変化が表れてきています。以前は48%の方が「投資するだけのまとまった資金がないから」と回答していましたが、2018年のアンケートではこの比率が27%まで低下しています。これは2014年に開始したNISA(少額投資非課税制度)の導入によって、「投資が少額でも可能」という認識が広がってきたことがうかがわれます。

■ 投資をしない理由の変化(上位4項目のみ)



出典：フィデリティ退職・投資教育研究所、会社員1万人アンケート(2010年、2013年、2015年、2018年)と勤労者3万人アンケート(2014年)

## 第2回 年齢に応じた 資産配分のポイントとは？



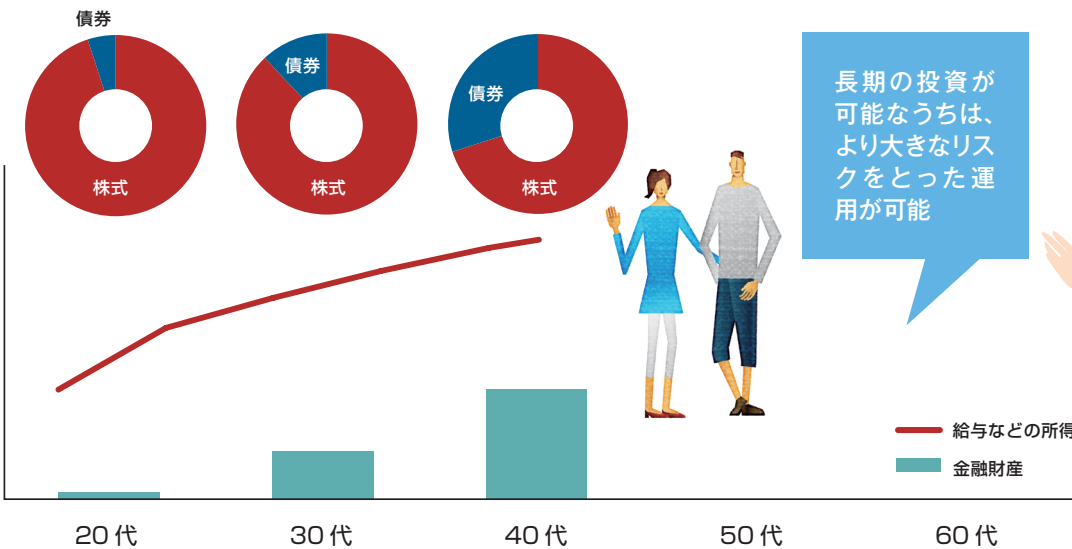
投資を続けられる期間の長さを  
考えた資産配分を行きましょう。

### 1

まだ若く、長期の投資が可能のうちは、より  
大きなリスクをとった積極的な運用が可能です。

年齢に応じた資産配分のポイントとは、これから投資を続けられる期間の長さを考慮して資産の配分を行うことにあります。たとえばまだ若い世代の方であれば、この先20～30年の長期運用が可能であり、また働いて得られる収入も増加していくことが期待できるため、株式など比較的风险の大きい資産の配分を高めた運用を行うことが可能だと考えられます。

#### ■ 資産配分と所得、金融資産の関係（20～40代のイメージ）



※上記は概念図であり、実際とは異なる場合があります。

長期の投資が  
可能のうちは、  
より大きなリス  
クをとった運  
用が可能

資産配分は、自分の年齢、つまり自分が投資を続けられる期間の長さに応じて変更するのがポイント。長い時間を活かした積極運用から始めて、加齢とともに徐々にリスクを抑えて安定運用へシフトすることで、投資最終年を迎える長期の資産形成を実践できるようになります。

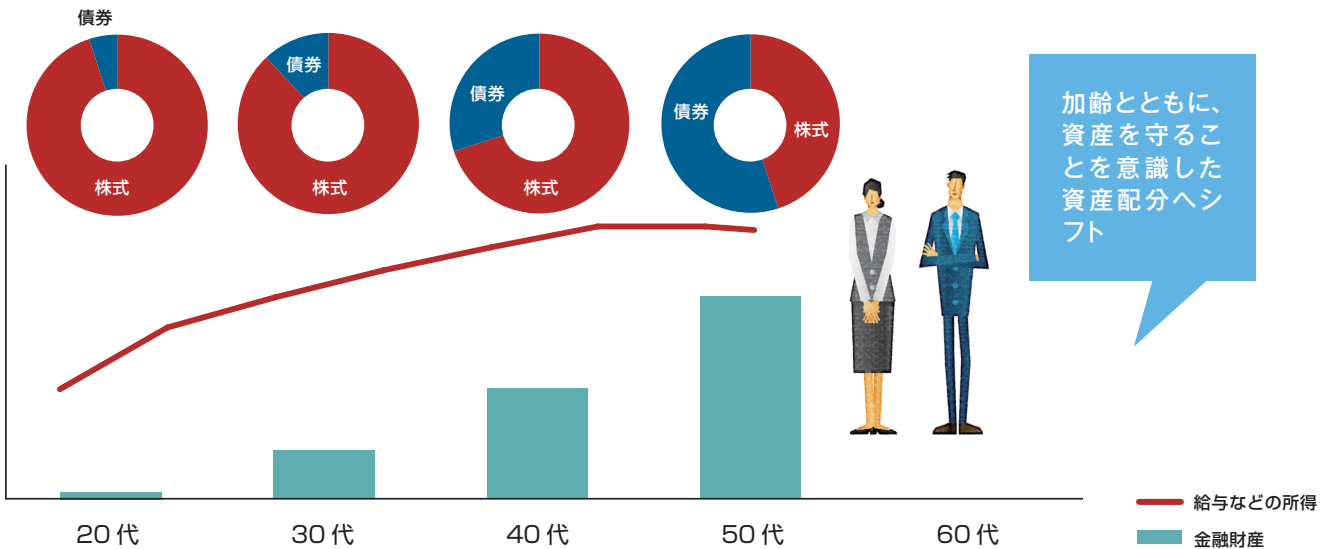
このような運用が自分で実践できるか、まだ不安を感じる方もいらっしゃるかも知れませんが、将来に備えて、今から少しずつでも運用について、学んでいただきたいと思います。

# 2

## 運用可能な期間の長さにあわせて、資産の配分を調整し、リスクを抑えていきましょう。

年齢を重ねるとともに、運用を続けられる期間はだんだんと短くなっていきます。たとえば50歳の時点で考えると、運用してきた資産は成長していることが期待できますが、所得の伸びはピークを迎えているかもしれません。そこで退職までの時間はまだあるとは言え、これまでより守りを意識し、債券などのリスクが小さい資産への配分を増やしていきます。

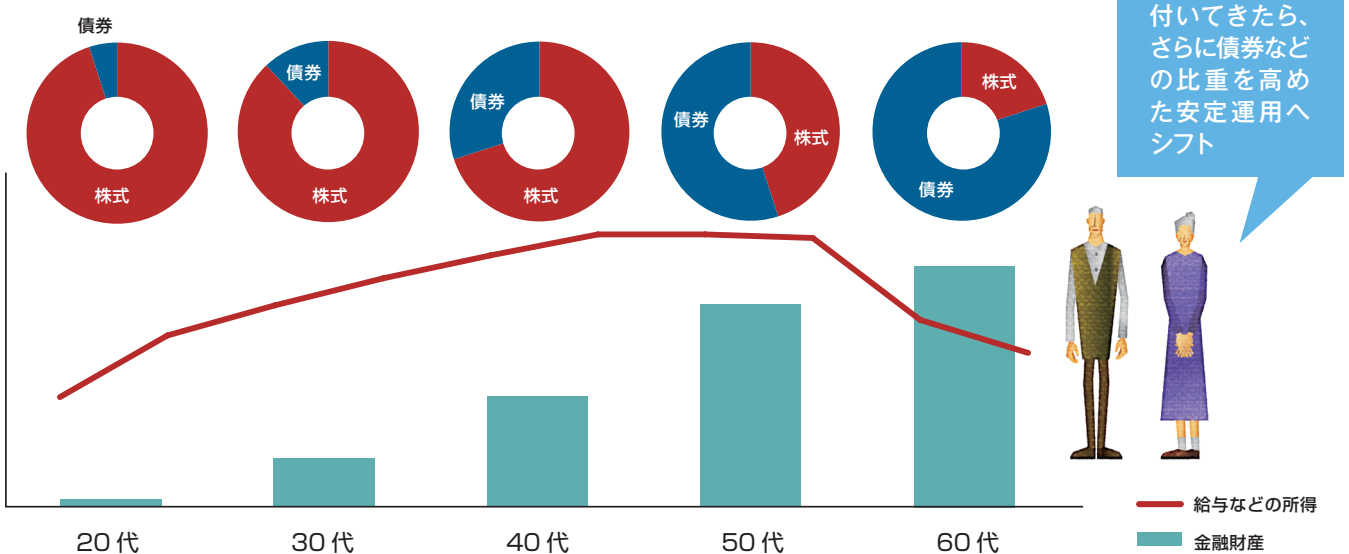
### ■ 資産配分と所得、金融資産の関係（50代のイメージ）



※上記は概念図であり、実際とは異なる場合があります。

そして退職時期を迎える頃には、保有している資産は大きくなっていることが期待できるものの、今後得られる所得は限られると考えられます。ここからは大きな損失を避けるため、より安定的な運用を行う必要が高まるので、さらにリスクを抑えた資産配分に変えていきましょう。

### ■ 資産配分と所得、金融資産の関係（60代のイメージ）



※上記は概念図であり、実際とは異なる場合があります。

ライフイベント  
などにかか  
るお金

## 生命保険料

生命保険の保険料（年間）は？

約 **38** 万円

(出典) 生命保険文化センター「平成30年度 生命保険に関する全国実態調査<速報板>」

マイホームに次いで人生で2番目に高い買い物と言われる生命保険。みなさん、どれくらいの保険料を払っているのでしょうか？ 生命保険文化センターの「平成30年度生命保険に関する全国実態調査」によれば、年間払込保険料の平均は約38万円です。

しかし、人によって必要となる保障は異なります。下の表は年齢別による保険料の平均を示したものですが、最も保険料を払っているのが50代前半の約48万円。現役中の家族に対する保障、老後資金のための準備をライフプランにあわせて保険で準備している人が多いようです。

### ■ 年齢別による保険料（年間）の額

単位（万円）

全体	38.2
29歳以下	23.3
30～34歳	29.8
35～39歳	38.0
40～44歳	34.5
45～49歳	42.7
50～54歳	48.3
55～59歳	45.3
60～64歳	43.9
65～69歳	33.8
70～74歳	29.9
75～79歳	35.3
80～84歳	29.5
85～89歳	36.5
90歳以上	22.5

・当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、その正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。

・当資料に記載の情報は作成日時点のものであり、市場の規模やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

・当資料は投資教育の目的で提供されておりますので、許可無く対象とされていない第三者に開示することを禁じます。

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第388号

一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人 日本投資顧問業協会会員

©フィデリティ投信株式会社

All Rights Reserved.

MKI190820-1 DC190820-1

(出典) 生命保険文化センター「平成30年度 生命保険に関する全国実態調査<速報板>」

世帯年間払込保険料（全生保）[世帯主年齢別]

(注) 全生保は民保（かんぽ生命を含む）、簡保、JA、県民共済・生協等を含む。90歳以上はサンプルが30未満

※記載内容は一般的な説明を目的としており、前提条件によって異なることもありますので、実行にあたっては専門家にご相談ください。